

丹波篠山市教育長 様

丹波篠山市立篠山養護学校 学校長 尾松 直樹

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第1回 篠山養護学校運営協議会実施報告書

1 学校運営協議会の開催について

(1) 開催日時 令和5年5月30日(火) 19時00分～20時30分

(2) 開催場所 丹波篠山市立篠山養護学校 音楽・会議室

2 出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏名	所属等	出欠
小林 俊彦	前沢田自治会 会長	○
畑中 浩	篠山養護学校PTA 副会長	×仕事
中井 里佳	篠山養護学校PTA 事業部長	×仕事
泉 より子	丹波篠山市民生委員児童委員協議会 会長	○
畠中 悦子	手をつなぐ育成会 会長	○
押田 正克	ささやま通園センター 施設長	○
本多 紀元	丹波篠山青年会議所 理事長	○
山本 恭子	玉水まちづくり協議会 役員	○
林 佳美	障がい者基幹相談支援センター 相談員	×その他
尾松 直樹	篠山養護学校 校長	○
方山 直人	篠山養護学校 教頭	○
岡澤 直樹	篠山養護学校 主幹教諭	○

3 傍聴人数 (0) 名

4 議題及び会議の公開又は非公開の別（協議事項毎に公開及び非公開の別を記入すること）
主な協議事項及び主な意見内容（審議の概要）

- ・コミュニティ・スクール推進事業の趣旨説明 (全て公開)
- ・組織確認
- ・学校経営方針の承認
- ・事業計画及び事業予算（案）等についての承認
- ・学校の様子（幼児児童生徒の状況、感染対策、行事等の様子）について（意見交換）
- ・周年事業（令和6年度50周年）への協力依頼について

任命書交付後、令和5年度の学校経営方針、予算案等について説明し、全委員から承認を得た。新たに委員2名を増員し、機動的な協議会活動への転機としたい。意見交流では、委員各々から本校の子ども理解・啓発に向けた前向きな意見が沢山であった。その中で、大きなイベント事よりも、まずは保護者をはじめ、地域住民等に子どもの実態を知っていただく地道な活動が大切であるとの意見もいただいた。コロナ禍前に実施していた活動を精選し実施していくことで、地域との関係（繋がり）の再構築を図りたい。50周年事業には当事者として全面的に協力をいただくことで了承を得た。

5 会議資料の名称

- ・第1回篠山養護学校運営協議会（レジュメ）
- ・学校の様子等（別紙）
- ・令和5年度第1回篠山養護学校運営協議会資料
- ・令和5年度丹波篠山市立篠山養護学校学校要覧（簡易版）
- ・学校運営協議会委員の篠山養護学校周年事業への協力について
- ・校長通信（6月は「丹波篠山市学校安全月間」～危機管理意識の向上に向けて～）

6 今後の予定及び方向性

“めざす子ども像”を共有するためにも、早期に「熟議」を実施する。また、本校課題の理解促進に努めるとともに、山積する課題の早期解決に向けて具体の方策を検討する。更に、50周年事業の実施に向けては、地域住民から愛される篠山養護学校をめざし、地道な情報発信と地域活動への参画を通して、信頼される学校づくりに努めていく。

7 次回開催予定

(1) 開催日時 令和5年7月（詳細は後日調整）

(2) 開催場所 篠山養護学校 音楽・会議室

※ 「出席状況」は、出席の場合には○、欠席の場合には×を記入願います。
欠席の場合、出欠欄に欠席事由を簡潔に記入ください。（仕事・別会合出席・その他）